地域で豊かに
自分らしく生きる

きらり かがやく

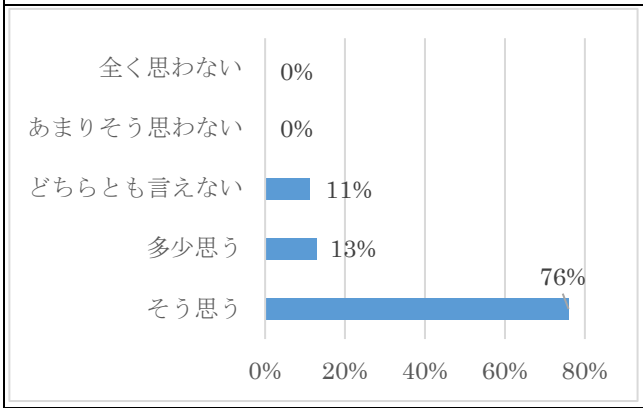
見附市立見附特別支援学校　学校評価だより

令和８年９月 11 日

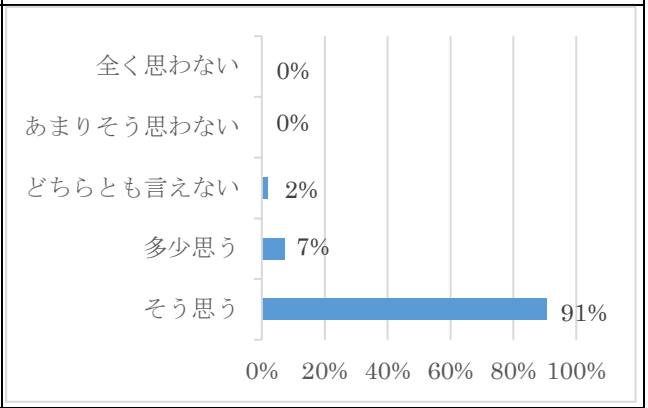
保護者 前期学校評価について

前期保護者学校評価に基づいて、見附特別支援学校の良いところと課題をお知らせします。保護者の皆様からは、ご多用の中、アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

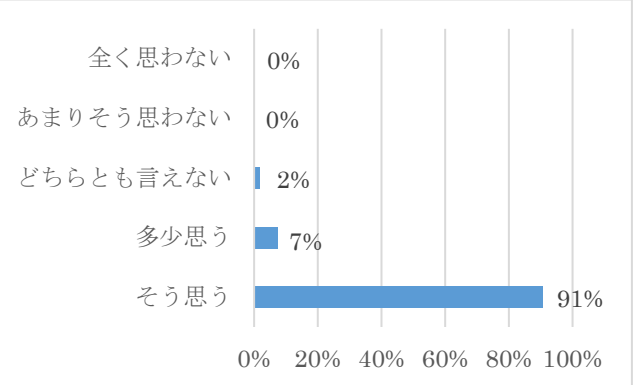
① お子様は、学校での生活を楽しんだり、意欲的に学習したりしようとする姿が見られますか。



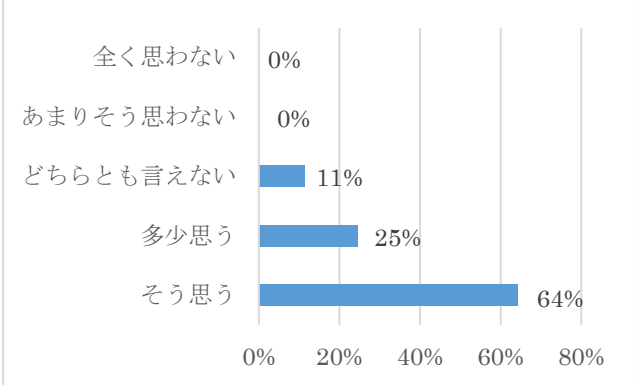
② 職員は、個々の子どもたちに応じた指導・支援をしていますか。



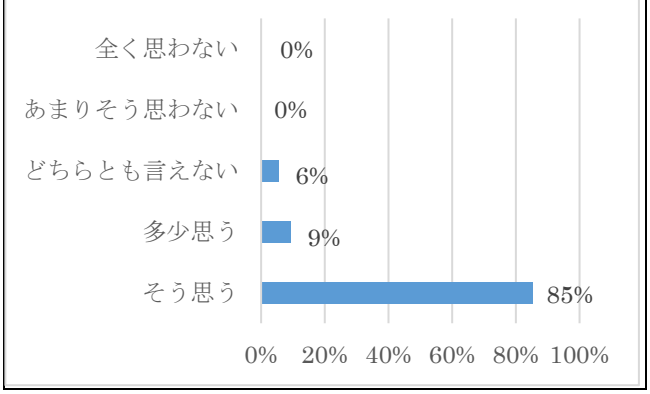
③ 職員は、子どもたちの自立や将来の生活に向けて、効果的な教育活動を進めていますか。



④ 職員は、地域と連携したり地域資源を生かしたりして教育活動を進めていますか。



⑤ 職員は、子どもたちにとって安心・安全な教育活動ができるよう配慮していると思いますか。





質問①「お子様は、学校での生活を楽しんだり、意欲的に学習したりしようとする姿が見られますか。」については、肯定的評価（「そう思う」「多少思う」）が 89％と高い評価でした。「楽しそうに自分から友達や先生と関わっている姿が見られる。」（小学部）、「学校での行事をとても楽しみにしている。」（中学部）といったご意見をいただきました。交友関係が広がり、楽しく学校生活を送っている子どもたちが多いことがうかがえます。

質問②「職員は、個々の子どもたちに応じた指導・支援をしていますか。」については、肯定的評価が 98％と非常に高い評価でした。「子どもの状況に合う対応をしていただいている。」（小学部）、「個別の学習カリキュラムで指導いただいている。」（中学部）、「特性を考慮しつつ、力が伸びるように支援してくださっている。」（高等部）といったお褒めのお言葉をいただきました。今後も個別の指導計画をもとに、個に応じた適切な学習支援を進めてまいります。

質問③「職員は、子どもたちの自立や将来の生活に向けて、効果的な教育活動を進めていますか。」については、肯定的評価が 98％と非常に高い評価でした。「自分の身の回りのことが出来るように支援してもらっている。」「本人のペースに合わせてやってくれている。」（小学部）、「出来ることは自分で取り組ませて、自立に向けた教育を常にしていただいている。」（中学部）といったご意見をいただきました。今後も、子どもたちが自分でできることが増えたり、将来に向けて着実に力を高めたりすることができるよう、適切で効果的な支援を進めてまいります。

質問④「職員は、地域と連携したり地域資源を生かしたりして教育活動を進めていますか。」については、肯定的評価が 89％でした。「校外学習等で公共施設や交通機関を使って学習できている。」「名木野小学校との交流など、定期的に行っている。」（小学部）、「校外学習や職場見学等で、幅広く取り組まれている。」（高等部）などのご意見をいただきました。反面、「分からない。」「こちらからは見えない。」といったご意見もありました。今後は学校での取り組みを各種たよりやホームページなどでお伝えしたいと思います。２学期も各学部で様々な校外学習や交流活動が予定されています。地域で豊かに生きる子どもたちの育成を目指し、取り組んでまいります。

質問⑤「職員は、子どもたちにとって安心・安全な教育活動ができるよう配慮していると思いますか。」については、肯定的評価が 94％と大変高い評価でした。「家庭にも共有や報告をしていただき、安心して過ごさせてもらっている。」「１対１で常に見守ってくれている。」（小学部）、「子どもが安心して過ごせる環境をつくってくださっている。」（中学部）、「安心して学校に通わせられる。」（高等部）などの意見をいただきました。これからも安心・安全を第一に、子どもたちをしっかりと見守り、けがや病気、災害等の事態が発生してもすぐに対応できるようにしていきます。

質問⑥「ご自分のお子様について、今学期成長した姿や頑張った姿がありましたら、具体的にお書きください。」（自由記述）には、具体的な姿をたくさん書いていただきました。

「身辺自立が進み、発語する場面が増えた。」「手先を使うのが上手になった。」（小学部）、「イライラしたり情緒不安定になったりすることが減り、驚いている。」「自主的な手伝いなどの行動が増えた。」（中学部）、「10 日間の職場実習をやり遂げたこと。」「自発的に物事に取り組むことが増えている。」（高等部）など、個々に様々な成果が上がっていることがわかりました。

項目⑦「今後、学校にどのような取り組みを期待していますか。お書きください。」（自由記述）にも、様々なご意見をいただきました。

「地域との交流や、交通機関を使った校外学習を望む。」「子どもたちが笑顔になれる取り組み。」（小学部）、「子どもの積極性を引き出してもらいたい。」（中学部）、「卒業後に役立つことを教えてほしい。」「クールダウンができる部屋があるとうれしい。」（高等部）などです。保護者の皆様のご要望をもとに、子どもたちの力をさらに伸ばせるよう、日々の取り組みを進めてまいります。

その他、学校への様々なご意見、ご要望をいただきましたので、以下、お答えできる範囲で記載します。

・「パソコンを使うなど、ＩＴ分野の可能性を広げてほしい。」とのご意見をいただきました。
→当校では児童生徒に１台ずつタブレットが用意され、必要に応じて活用しながら学習を進めています。例えば、朝の会で、子どもが画面のイラストをタッチして音声を流し、司会を進める。音楽の授業で、画面上に映し出された鍵盤をたたいて音を出すことで、キーボード演奏の練習をする。進路学習で、自分が望む働き方を生成ＡＩに入力することで、自分に適した職業を調べるなどです。今後も、様々な場でタブレットやパソコンを有効に活用し、子どもたちの力を伸ばしていこうと思います。

「自分でできることが増えていくような取り組みをお願いしたい。」とのご意見をいただきました。
→今回、子どもたちの自立や将来の生活に向けて、どのように支援を進めているか、職員にアンケートを取りました。その結果、「子どもができることを奪わず、待つ時間をとる。」「できることを増やすため、見守ることを大切にする。」「できるだけ本人にやらせて、達成感をもたせる。」などが効果的だという意見が出されました。今後も、「なるべく子どもたちに取り組ませる。」「待つ姿勢で、しっかり見守る。」「できたことは積極的に評価して達成感をもたせる。」といった支援を大切にし、自分の力でできることを増やしていきたいと思います。

・「学校行事の案内やアンケートなど、tetoru を活用してほしい。アンケートは、他の学校はほぼ tetoru です。」とのご意見をいただきました。
→今回「１学期　保護者アンケート」の意見集約については、アンケート用紙とグーグルフォームの併用で進めさせていただきました。提出状況を見ると、アンケート用紙とデータ入力がほぼ同数でした。また、ＰＴＡ夏祭りの保護者アンケートをグーグルフォームにてお願いしたところ、提出数が例年よりかなり減少してしまいました。市内小中学校の中には tetoru のみで発送しているところもあるようですが、当校の現状を見ると、データ配信のみとすることには慎重な対応が必要かと思われます。紙面と tetoru の併用、tetoru のみの配信など、お伝えする内容によって様々なケースが予想されます。今後、tetoru をより有効に活用できるよう、検討を進めてまいります。

・「学校の始業時間を早めてほしい。」とのご意見をいただきました。
→当校では職員の勤務時間が 8:30 からとなっております。8:30～8:45 を職員打合せとして設定しており、その日の活動の円滑な実施などについて、確認したり共通理解を図ったりするための大事な時間となっています。それに伴って登校時間帯を設定させていただいておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

紙面の都合等で、いただいたご意見、ご要望の全てに回答することはできませんが、一つ一つ真摯に受け止め、検討し、改善できるところは可能な限り対応してまいります。

また今回のアンケートでは、要望だけではなく、温かいお言葉もたくさんいただきました。「いつも丁寧に様子を教えてくださり、ありがとうございます。」（小学部）、「スモールステップで対応してくださっていて、ありがたいです。」（中学部）、「学校全体の雰囲気がとてもよく、生徒たちにも伝わっていると思います。」（高等部）などです。いただいたお言葉を励みに、職員一同さらに努力を続けてまいります。

なお、当校では、いつでも保護者の皆様のご意見、ご要望を承っております。お気づきの点があれば、いつでも学級担任や学校職員にお伝えください。



【 担 当 】
教務主任　大口 雅久
電話：0258-63-2210